

学校運営協議会 議事録

校名	府立りんくう翔南高等学校
校長名	藤田 繁也

開催日時	平成30年7月3日(火)13:30 ~15:30
開催場所	府立りんくう翔南高等学校 プレゼンテーションルーム
出席者(委員)	野村 昌弘、谷垣 洋介、江田 優紀、岡崎 裕、若狭 薫滋 ※田中 正視委員は欠席
出席者(学校)	藤田校長、妻木教頭、井内首席、田中首席 他分掌長および学年主任
傍聴者	なし
協議資料	平成30年度学校経営計画 他
備考	

議題等(次第順)

1. 委員紹介
2. 校長挨拶
3. 学校運営協議会要項説明
4. 会長選出
5. りんくう翔南高等学校の取組み(報告)
6. 平成30年度学校経営計画について(協議)

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- ① 中期的目標の中にある部活動加入率引き上げについて(野村委員)
長期的に見て、中学校との連携は大切。中学校との交流行事を各クラブで立ち上げ、「知っている先輩」がいる状態を作っていくのが上策ではないか。
- ② 「総合的な学習の時間」の方向性について(岡崎委員)
学習指導要領にある「総合的な学習の時間」の方向性として、国際理解教育を軸におくのは大変良いと思う。しかし、先ほど進路の担当者がおっしゃった、「基礎学力の充実」という考え方と、「総合的な学習の時間」の主旨には若干の齟齬があることを考える。ただし、国際交流行事が成功したことを踏まえ、この学校の校名が「りんくう=臨空」翔南であることを勘案すると、異文化理解や国際交流を軸に据えることは「総合的な学習の時間」の主旨に叶っている。
- ③ ICT活用の授業例についての質問(江田委員)
(学校側)現在、タブレット型コンピュータを40台導入しており、調べ学習や予習・復習のミニテストなどを授業で行っている。
- ④ 観点別評価について(岡崎委員)
観点別評価は、どこでも難しいと聞く。りんくう翔南高校では、学校経営計画に示されているような観点別評価が行えているのか?
(学校側)実際に難しい。この評価方法については、大阪は後発で、神奈川県横浜市などは進んでいる。ただ横浜でも評価に合わせて観点を作るような本末転倒した取組みが当初にあったようだ。本校では、現在苦しみながらも観点別評価を取り戻すべく頑張っている。

その後、数点の質問等があったものの、学校経営計画については、委員全員の賛同を得た。

次回の会議日程

日時	平成 月 日()00:00~
会場	